

ナカログ



2012 Vol.36

講座・イベントレポート（事業報告）

第6回なか区民活動センター祭り

～「和と輪と環」でひろがる生涯学習・市民活動～

中区多文化体験講座「漢詩・漢字から学ぶ書法」

学・楽・学・楽ぽんっ！きっかけフリートーク

嶋田 昌子さん 小澤 美那さん 白川 葉子さん

（山手歴史文化研究会）

中区活動団体補助金団体のご紹介 PART 1

ライフエンジン、中区絵本フェスティバル実行委員会、アルファクラブ・横浜会
横浜再発見の会・ハートフィールド、White Heart Support

「なかく街の先生」新しい登録者のご紹介

センターあれこれ活用術 ～「なかく街の先生」編～
センター事業のお知らせ

センターからの施設利用のお知らせ

年末年始の開館情報

なか区民活動センターは、
以下の日程で休館となります。

ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

センター休館日

12月29日（土）～1月3日（木）

1月4日（金）より通常開館

秋の楽しみ

冬の楽しみ..



欲張りすぎず
楽しみましょ☆

もなか

なか区民活動センターのマスコット

第6回なか区民活動センター祭り ～「和と輪と環」でひろがる生涯学習・市民活動～

開催日時：2012年10月7日（日）10:00～16:00

会 場：なか区民活動センター

「第6回なか区民活動センター祭り」は、中區で活動する市民活動・生涯学習団体の活性化と団体同士の交流、一般市民への日頃の活動のPRを目的に「ハローよこはま 2012（中區民祭り）」と同日に開催しました。



今年も昨年に引き続き企画委員会を立ち上げ、テーマの選定、出展団体募集方法、運営、PR、チラシ、プログラム、館内外の装飾などについて検討と決定を行いました。今年のテーマは『和と輪と環』、昨年のテーマ「つながり」からさらに発展させ、祭り全体を通して、丸く、限りなく繋がる『わ』を目指しました。

当日の朝はあいにくの空模様でしたが午後からは天気も回復し、来場者数も増え、盛り上がりました。出展団体数が昨年の18団体から25団体に増えたため、1団体あたりの出展スペースは小さくなりましたが、各団体の皆さんの工夫を凝らした出展により、とても充実した内容となりました。今回は初めてセンター祭り内の「スタンプラリー」を行い、その景品として活動センターのマスコットの「もなか」のバッジとクッキーを作成しました。活動センターのPRとともに出展団体と来場者の間での交流に一役買うことができました。さらに、飛び入り参加で中華保育園OB・OGの小学生による龍舞が会場内で披露され、祭りを一段と盛り上げてくれました。



出展団体以外のセンター登録団体も当日会場内に設置した「登録団体PRチラシファイル」の中で、日頃の学習や活動のPR・紹介を行いました。出展団体の皆さんからは、「“和と輪と環”を实践し交流ができた」「初めての参加で不安もあったが色々な方に活動内容を理解してもらって良かった」などの感想があり、様々な交流の『わ』がひろがった1日となりました。

飛び入り参加の龍舞！



和
と
輪
と
環



タイに関するクイズに挑戦中・・・！



いろいろな**交流**が
出展団体同士の交流！ ありました！
来場者の方と交流！

センター職員も
交流しました！

各出展団体がインターネット放送で、
活動の紹介をしました！



丸太切りを体験！



本牧の知的障害者福祉施設「オリブ
工房」にご協力いただき、スタンプラ
リーの景品として、今回のテーマに合
わせて3つの『わ』にちなんだクッキー
を作っていました！



中区多文化体験講座「漢詩・漢字から学ぶ書法」

開催日時：2012年9月8日（土）13:30～17:00
会場：なか区民活動センター 研修室1・2



中区で活動されている多くの外国人の中から、中国人書家「熊峰先生」^{ゆうほう}を講師に招き、中区民を対象に多文化体験講座「漢詩・漢字から学ぶ書法」を開催しました。

講座は日本と縁の深い時代・唐の詩人「張継」^{ちやうけい}を選び、日本人にも大変よく知られ、親しまれている彼の代表作「楓橋夜泊」^{ふうきやうぱく}を題材に、当時の時代背景、作者の心境、詩のこころ及び詩中の漢字の成り立ちについての講義の後、楷書、隸書、行書、草書、象形文字のそれぞれ違った書体による迫力ある実演が行われました。後半のワークショップでは参加者が好きな文字を作品にし、成果物として持ち帰りました。参加者は漢詩、漢字、書法を通じて中国の文化に対する理解がさらに深まったことだと思います。

参加者の声

- ☆はじめて中国書家の先生の実技を見せて頂き、感激しました。
- ☆今まで書展に行って意味が分からず感じたままを見ていたが、内容が理解できたらと思っていたので良い刺激になった。





中区には、横浜の歴史を垣間見ることができる歴史資産が多くあります。西洋館をはじめとして古き良き横浜の姿を残す山手の歴史資産について研究及び記録・保存、情報発信活動を行っている「山手歴史文化研究会」の3名の会員の皆さんにお話を伺いました。

嶋田 昌子さん

小澤 美那さん

白川 葉子さん

(山手歴史

文化研究会)

～山手の歴史資産を残し、
活かし、伝えるために～



山手の洋館への想いととも

Q、山手の歴史資産保存の活動に関わられたきっかけは？

嶋田さん：フレーザー邸という根岸の洋館の取り壊しが、きっかけでした。「なくなっていく洋館を残したい」という想いが、30年近い活動の底辺となって、今も建築講座をしている「ヨコハマ洋館探偵団」となり、「実際に現地を歩いてみよう」という「横浜シティガイド協会」に流れて行きました。研究会にはそうした想いがつながっています。

小澤さん：最初のきっかけは、昭和42年の山手十番館のオープンです。以来仕事として関わっています。お店を通して、学校、教会、外国人墓地など近隣の方々とのお付き合いが始まり、昭和52年には山手資料館が開館しました。

白川さん：私の場合は、平成9年に広報よこほまなか区版で市の「洋館活用検討会」の委員募集記事を目にしたことがきっかけです。古い建物が好きだったので、一般市民枠に応募し、委員になりました。

Q、3人が一緒に活動をするようになったきっかけは？

小澤さん：平成に入り地域の「山手まちづくり推進会議」に参加し、「山手まちづくり憲章」の起草委員となりました。3人の出会いの場は、山手234番館の実験活用と後の市民運営です。この運営委員会がまず「山手の歴史資料を残していく活動」を始めました。同時に山手西洋館が開館していく中で、住民や訪れる方の中に山手の古い情報を持っている方がいることに気づきます。山手の歴史は、震災・戦災を経て一般市民の目の触れないところに埋もれてしまっていました。山手西洋館があることで、情報が集まるようになり、私たちは、情報という「宝」を見逃さず、拾い上げ、記録に残したいと考え、関東学院

大学教授水沼淑子先生のご指導のもと、研究会を発足させ、学習と活動を行っています。

今、私たちがまちづくりにできること

－歴史を探求し、残していくということ

Q、団体としての活動の課題と展望をお聞かせください。

嶋田さん：洋館の急激な数の減少が課題です。歴史は伝えていくことができますが、カタチある、生きている歴史の保存は難しい。研究会としても保存の重要性を念頭に置いていきたいです。研究会は山手の歴史を深く見詰め探求していく学習の場としてとしてまだ「蓄える」ときですが、今後は「発信していく」ということも大切だと考えています。

白川さん：「深める」ということと同じく「外に発信していく」ことですね。まちづくりの活動の数、分野ともに増えています。しかし、それぞれの活動はポツンと点になって「まち」にある。まちづくりの共通認識として「歴史」をキーワードに、活動の点の「つなぎ役」を果たせればと思っています。今年は、月例の勉強会の他に他団体と協力して子ども向けガイドツアーや講演会なども行ないました。このような企画協力も、山手の歴史を残していくことへつながると考え、今後も学習と活動を継続していきたいと思います。

Q、歴史資産の保存や継承に興味を持ち、

活動にチャレンジする市民の方へメッセージを。

小澤さん：思ったことは始めてみる。自分の足で歩いて、行動を起こすことですね。

嶋田さん：市民活動は時間をかけて花開き、広がっていくものだと思います。ぜひ、いろいろな所に顔を出して、自分の胸になにかひっかかる活動との関わりを大切にしてみてください。



中区活動団体補助金とは？

中区では、まちづくり、環境、こども、国際交流などをテーマとした公益的な活動を支援するために平成24年度「中区活動団体補助金」を交付しています。活動を支援するスタートアップコース、事業を支援するパワーアップコースの2種類があり、交付を受けた団体は公益的な市民活動や開かれた学習会等を行い、広く中区民に活動や学習の成果を還元しています。

ぜひ、地域でのイベント等を企画される皆様でそれぞれの団体の活動に興味を持たれた方はお気軽に「なか区民活動センター」へお問い合わせください！



スタートアップコース



団体結成から4年以内の団体の皆さんが対象です！

ライフエンジン

『エンターテインメント』で「人の心」と「愛する地域」を活性化！

『まちづくりパフォーマー』が地域のイベントやお祭りで「コメディーマジックショー」を披露し、横浜市内の地域活性化と商店街の振興に貢献する団体です。放課後キッズクラブでのマジック体験教室開催など、地域の盛り上げ役としての活動の幅も拡大中です。さらに、「まちづくりパフォーマー」の募集や育成にも力を入れて取り組んでいるそうです。



地域での胃がん患者の集い、悩みを共有していく

アルファクラブ・横浜会



胃がん患者及び回復者の皆さんが体験や症状への対処法などを共有する懇談会を行っています。講演活動やがん検診の啓発にも積極的に携わり、胃がん患者が一人で悩まず、情報交換の場として活動しています。今後は、地域の医療機関との連携、市民への活動の周知を目標に「当事者や家族を支え、勇気づける存在」となることを目指していきます。

中区絵本フェスティバル実行委員会

「絵本」を通して、子どもたちへ想像の世界の豊かさを！

「絵本を通じて、子どもたちへ想像の世界の豊かさと自由な時間を贈ること」を目的に、昨年度から子育て支援事業として「中区えほんフェスティバル」を開催しています。中区内の文化施設や区民利用施設が協働し、「絵本」をキーワードに各施設や団体の特徴を活かしたイベントを開催する中で子どもたちへ「想像力の世界」の楽しさを伝えています。



街歩きで、横浜の新たな魅力に出会おう

横浜再発見の会・ハートフィールド



横浜という街を、横浜の人々にウォーキングを通して横浜のよさを知ってもらいたい。将来の観光発展への貢献として、「街歩き」によって従来の観光地横浜をちがう角度からみて新たな発見ができるツアーなどを実施しています。今後は、写真家や音楽家などとのコラボレーション企画に歴史もからめた企画の実施を予定しています。



中区活動団体補助金団体のご紹介 PART 1

パワーアップコース >>>>> 事業拡大、充実を目指す団体の皆さんが対象です！

White Heart Support

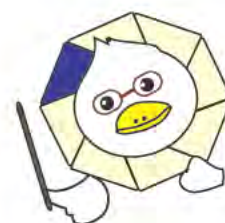
地域の親子の声に耳を傾け、ケアとサポートを！

「親子を学校や地域から引きこもりにさせない」ことを主な目的として、保護者と子どもの人間関係の悩みについての相談・サポート事業を行っている団体です。

地域での子どもたちや保護者の人間関係は年々複雑化しています。些細なトラブルで、子どもと保護者が悩みを抱え学校や地域から孤立してしまうことも多いそうです。地域社会での親子の関係と見えない悩みを支援し、子どもからのシグナルを見逃さないことを大事にして、団体としての相談事業や講演会・イベントを実施、子育て支援の継続とさらなる事業の発展を目指しています。



なかく街の先生 新しい登録者のご紹介



平成24年4月から10月までに新しく登録された「なかく街の先生」の皆さんです。
各登録者への依頼、質問については「なか区民活動センター」へお気軽にお問い合わせください！

	分野	登録番号	ジャンル	登録者名
1	芸術・文化・趣味	A-33	ハガキアート・マイキーホルダー・囲碁	シミンカドウ 市民活動・ 出張ワークショップ「フレンド工房」
2	芸術・文化・趣味	A-34	手づくり絵本・カード	クワハラ タエコ 桑原 妙子
3	芸術・文化・趣味	A-35	工芸	コガ 古賀 ユカリ
4	芸術・文化・趣味	A-37	つまみ細工（工芸）	ツカモト リカ 塚本 利花
	生活・福祉・健康	C-13	アロマテラピーとハーブ	
5	芸術・文化・趣味	A-38	落語	フジノ タダシ 藤野 正
6	芸術・文化・趣味	A-39	アート・イラストレーション	ユカ 縁
7	芸術・文化・趣味	A-40	美術（絵画・工作）	オカモト リョウコ 岡本 良子
8	学術・教育	B-6	天文教室・天体観望	ホラスワ シゲル 洞澤 繁
9	生活・福祉・健康	C-14	健康・生きがいづくり	ツズキ キヨシ 都築 潔
10	スポーツ・レク	E-11	健康体操	コウシャ ニホン タイソウキョウカイ タカ イハン (公社) 日本3B体操協会 高井班
11	スポーツ・レク	E-12	健康体操	クボタ マサノ 久保田 昌乃
12	スポーツ・レク	E-14	健康体操	カセ ユウコ 加世 祐子

(H24.11.2 現在)

センターあれこれ活用術 ～「なかく街の先生」編～

夏休みのデイキャンプ☆

子供向けのイベント、どうしようかな？

(中区・柏葉子供会)

そこで!

「なかく街の先生」制度を利用して登録者の宇佐美祐一郎さん(ジャンル: コメディーマジックショー)に、マジックショーを披露してもらうことに!



7/14 デイキャンプで
コメディーマジックショー
@柏葉町内会館

夏休みのメインイベント“デイキャンプ”に今年は、コメディマジックショーの宇佐美さんをお招きしました。子供達は何とかタネを明かそうとマジックを食い入るように見ていました。また、“コメディ”という名の通り、かけ合い漫才のような宇佐美さんのトークに子供達だけでなく大人も終始大爆笑で、夏休みの楽しい思い出となりました。

ご感想



～「なかく街の先生」はご自身の経験を生かして地域で教える方々の人材登録制度です～
地域で特技や経験を生かしたい方、地域でのイベントや講座に講師を呼びたい方にオススメです。
登録、利用をご希望の方はまずは「なか区民活動センター」までお問い合わせください!



これから センター事業のお知らせ

なかくコミュニケーション術講座 ～ “気づいて、築く” 楽しい人間関係 ～

学習や活動の場で活かすことができるコミュニケーション術を学びませんか?

地域活動や生涯学習にご興味をお持ちの方、実際に活躍されている方にオススメの講座です!

日時: 平成 25 年 2 月 9 日 (土) 14:00 ~ 16:30

場所: 横浜朝日会館 6 階 6D 会議室 (日本大通り駅徒歩 2 分)

費用: 無料

対象: 中区在住、在勤、在学の方 30 名 (先着順)

講師: 人材育成コーディネーター・コーチ

宮田 礼子 氏 (オフィス WEG)

申込受付: 平成 25 年 1 月 11 日 (金) より電話・FAX にて

なか区民活動センターまで



「なかく街の先生」今年度登録者、
講座参加者の交流もします!



【お問い合わせ・申込】

なか区民活動センター

電話: 224-8138

FAX: 224-8343

センターからのお知らせ



センター内で図書の特設をはじめました！

なか区民活動センターにて、中図書館の図書の常設をはじめました！
センターでの勉強や活動の合間に読書をしてみませんか。

ご利用は館内閲覧用のみとなります。閲覧をご希望の際は、センター受付までお声かけください。



年末年始のセンター開館について

2012年							2013年				
12月							1月				
25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)	29日(土)	30日(日)	31日(月)	1日(火)	2日(水)	3日(木)	4日(金)	
休館日	開館日	年末年始の休館日となります 							開館日		

- 開館時間は午前9時～午後9時です。
- 2013年4月の施設利用予約の本予約は1月4日(金)からの受付となります。

なか区民活動センター 施設利用のご案内

主に中区民の自主的な活動（市民活動・生涯学習・地域活動など）をサポートする施設です。

- ✿ 開館時間
午前9時～午後9時
- ✿ 休館日
毎月第4月曜日
(祝・休日の場合は
翌火曜日)
年末年始

- ✿ 施設の利用について
主に、中区民の自主的な活動（市民活動・生涯学習・ボランティア活動・地域活動などの公益的な活動）にご利用いただけます。研修室や一部の設備の利用には団体登録が必要です。

- ✿ 利用登録
研修室・ミーティングエリア・印刷室の予約、貸ロッカー・レターケース、貸出機材を利用する場合は利用登録が必要です。登録申請にはセンタースタッフとのヒアリングや審査があり、少々お時間をいただきます。



「ナカログ」はバックナンバーも含めて、なか区民活動センターのホームページでもご覧いただくことができます。

なか区民活動センター ホームページ
<http://www.city.yokohama.lg.jp/naka/ncac/>



なか区民活動センターマスコット「もなか」



「なか区民活動センター情報誌・ナカログ」編集・発行／なか区民活動センター編集室
問 合 せ／なか区民活動センター（中区地域振興課） TEL 045-224-8138 FAX 045-224-8343
〒231-0021 横浜市中区日本大通 34 E-mail : na-katsudou@city.yokohama.jp